

## 6 植物国内・輸出検疫

### 1) チチュウカイミバエ侵入警戒調査

我が国未発生の子チュウカイミバエの被害を防止するため、侵入の危険性が高いと推察される地点において、早期発見のため誘引トラップを設置して調査した。

表1 調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	大田原市戸野内	なし栽培地	1	0
〃	芳賀町稲毛田	なし栽培地	1	0
〃	宇都宮市築瀬町	宇都宮中央青果市場	1	0
〃	宇都宮市野沢町	なし栽培地	1	0
〃	小山市小葉	なし栽培地	1	0
〃	小山市下河原田	栃木県南公設卸売市場	1	0
合計	6	6	6	0

### 2) りんご火傷病発生警戒調査

発生予察において、りんご及びなしにりんご火傷病を調査項目として加え、定期的に産地の発生警戒調査を行った。

表2 調査期間、調査場所及び誘引状況

調査期間	調査場所	調査樹種	調査地点数	発生株率 (%)
5～8月	矢板市長井	りんご	2	0
〃	宇都宮市石那田	りんご	2	0
〃	大田原市湯津上	なし	2	0
〃	那須烏山市中山	なし	2	0
〃	高根沢町大谷	なし	1	0
〃	市貝町続谷	なし	1	0
〃	芳賀町稲毛田	なし	3	0
〃	宇都宮市平出町	なし	1	0
〃	宇都宮市板戸町	なし	2	0
〃	鹿沼市栢窪	なし	1	0
〃	小山市荒井	なし	1	0
〃	小山市南飯田	なし	1	0
〃	佐野市高橋町	なし	1	0
〃	佐野市上羽田	なし	1	0
合計	14	-	21	0

### 3) 台湾向けなしモモシンクイガ発生予察情報の提供

台湾向けになしの輸出を行っている地域に、フェロモントラップを設置して誘殺調査を行い、調査結果を発生予察予報に4月から10月まで掲載し、情報の提供を行った。

表3 調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～10月	那須烏山市滝	1	0
〃	宇都宮市下田原	1	0
合計	2	2	0

### 4) EU諸国向け盆栽栽培地検査

横浜防疫所長から検査補助員の委嘱を受け、「EU諸国向け五葉松等盆栽輸出検疫実施要領」に基づき鹿沼市においてさつき盆栽等の栽培地における検査を実施した。

表4 調査期間、調査場所及び誘引状況

検査日	実施場所	対象樹種	対象栽培地	備考
4月16日	鹿沼市	五葉松、シンパク、さつきつつじ、イロハモミジ、カリン、トウカエデ、ブナ、イチイ、ヒノキ、ハイビヤクシン	6カ所	防疫官による検査
5月13日				補助員の検査
6月11日				〃
7月16日				〃
8月20日				〃
9月10日				防疫官による検査